

新規殺ダニ剤の感受性低下の実態

【要約】 新規の殺ダニ剤、サンマイト水和剤、ダニトロンフロアブル、ピラニカ水和剤に抵抗性のミカンハダニが県内かんきつ産地に点状に発生している。

長崎県果樹試験場・病害虫科

専門

作物虫害

対象

果樹類

分類

指導

平成5年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

平成5年夏から新規殺ダニ剤の効力低下が一部問題となり、防除に苦慮した。このため県内の主な産地のミカンハダニの薬剤感受性を調査した。

[成果の内容・特徴]

- ①サンマイト水和剤、ダニトロンフロアブル、ピラニカ水和剤の効力低下のみられる地点がみつかった。現在のところその分布は点状に広がっているが、今後カンキツ産地全域に拡大する恐れがある。
- ②これらを有効に防除できる強力な薬剤は今のところないので、県基準に採用されている薬剤のなかで、比較的効果が期待できるオマイト水和剤、ダニカット乳剤、パノコン乳剤、マシン油乳剤などを有効に使用する必要がある。

[成果の活用面・留意点]

- ①感受性がわずかに低下した薬剤でも、一時的な密度減少に効果があるので、それらの薬剤を積極的に活用する必要がある。

[具体的データ]

表1 県内各地のミカンハダニの薬剤感受性（補正殺卵率+殺虫率%）

供試薬剤名	濃度 (倍)	佐世保市農協			多良見町農協				大村市農協		
		1	2	3	1	2	3	4	1	2	3
ダニカット乳 剤	3000	76.3	70.8	71.9	75.0	100.0	81.0	68.0	40.4	80.5	98.0
オマイト 水和剤	2250	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
オサダン 水和剤	9000	29.7	19.8	19.1	85.7	12.5	6.4	20.9	19.3	43.7	6.3
ニッソラン 水和剤	12000	25.8	40.6	16.9	47.9	32.8	27.9	24.0	23.2	46.8	23.2
ロゼイ 乳 剤	6000 ^a	87.4	30.0	97.9	36.7	94.4	74.7	15.7	82.8	78.7	91.7
オマイト 水和剤	9000	100.0	100.0	100.0	29.5	40.6	21.6	62.1	29.5	100.0	100.0
ダニトロンフロアブル	6000	93.9	100.0	73.1	23.3	18.8	14.3	47.1	17.9	98.7	100.0
ピラニカ 水和剤	6000	100.0	100.0	100.1	40.7	29.8	12.1	96.6	22.2	100.0	100.0

^aオルトラン水和剤4500倍を混用した。

[その他]

研究課題名：果樹の特殊病害虫発生状況調査

予算区分：県単

研究期間：平成5年度（平成2～8年）

研究担当者：大久保宣雄

既発表論文等：平成5年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：有効薬剤の選択、使用法の検討